

## 北朝鮮の核開発について（緊急声明）

平成14年10月22日  
原子力委員会

- 1．16日米国国務省の発表によれば、北朝鮮が、平成6年（1994年）の米朝間の「合意された枠組み」への署名後も、核兵器開発を目的としたウラン濃縮計画を有していたとのことである。このことは、核兵器の究極的廃絶を強く願ってやまない我が国国民の思いに逆行するものであり、極めて遺憾である。
- 2．原子力委員会は、原子力の平和利用を旨とし、その研究開発利用を円滑に進めると同時に、国際的にも核不拡散体制が維持・強化されることが重要であると考えている。
- 3．当委員会は、この考え方に基づき、これまでも、「核兵器の不拡散に関する条約」の無期限延長や、「包括的核実験禁止条約」の批准の際や、インド・パキスタンによる核実験の際など、折に触れ、原子力の平和利用の重要性を訴えてきた。
- 4．北朝鮮の核開発は、国際社会の基本的な合意である「核兵器の不拡散に関する条約」及び関係する国際約束に反するものであり、当委員会としては、北朝鮮が速やかにIAEAによる査察を受け入れ、早急に核開発を停止することを強く求める。また、我が国政府が、本件に関し適切な方策を講じることを要請する。